



して独自製品を開発し、自社の成長だけでなく地域の健康福祉の増進に挑戦する事業であり、たいへん具体的かつ期待が持てるビジネスプランである。

商品開発においても病院や大学など現場のニーズを反映させたプロセスで進めており、課題である営業・販売力の補完についても、代理店の開拓を展示会や支援機関を通じて進めるなど一つ一つ解決策に取り組んでいる。

外部環境の変化や地域課題を踏まえたうえで、自社の特徴をよく分析し、その特徴を最大限に活用する計画になっている。大賞がふさわしく、奨励金 200 万円を交付する。

#### ◎準大賞 お食事処 夢のヘルシーハンバーグ丼の移動販売車

受賞者 北村 裕美 さん (県)

##### 〔事業概要〕

「人のつながりと手作りの温かさでみんなを元気と笑顔に」をコンセプトに、体のことを思いながらも美味しいものを食べたいと思っている高齢者や子育て世代むけに、お食事処 夢で一番人気のハンバーグをのせたハンバーグ丼の移動販売を行う。

子育て中でも無理なく働けて、親子で一緒に社会や地域の方とつながれる職場を作りたいとの思いから、キッチンカーのスタッフは子育て中のお母さん達を中心に、夢のノウハウを活用してシフトを組む。病院やスーパーの近辺など食べてもらいたい人が集まりやすい場所に曜日と時間を決めて出店し、美味しく健康にも優しい温かい食事を提供する。

##### 〔評価〕

飲食店を 6 年間経営している中での気づきを具体化したもので「子育て世代の女性に社会で活躍してもらいたい」「飲食店に足を運べない高齢者や忙しい人のために健康にやさしく温かい食事を届けたい」という北村さんの強い思いが伝わってくるプランである。

スタッフの育成やレシピの活用など、現在行っている夢の事業との相乗効果も期待できる一方で、キッチンカーでの販売は設備の維持管理や販売時間の制約など様々な面で課題も多い。そうしたリスクへの対策を事業開始までに整えていただき、ぜひこの地域で挑戦してもらいたいビジネスプランであり、活躍してもらいたい経営者である。準大賞がふさわしく、奨励金 50 万円を交付する。

#### ◎準大賞 手術後のリハビリ用下肢荷重コントロール支援装置の開発及び販売

受賞者 テクノウェイブサンワ 有限会社 (上郷)

##### 〔事業概要〕

市内の病院や NESUC-IIDA の参加企業と連携し、リハビリで利用する荷重コントロール装置を開発して全国の医療機関（リハビリ病棟むけ）に販売する。

下肢のリハビリを行う際、足裏にかかる荷重を適正に図る方法がないという課題に着目し、医療現場の声を聞きながら開発と改良を重ねてきたもので、感覚による判断や体重計

で代用していた測定方法を今回の製品に変えることで、リハビリ期間の短縮や患者・支援者双方の負荷軽減に貢献できる。

製造・量産体制の整備やアフターフォローについては NESUC-IIDA のネットワークを活かし、同社が主幹企業となり飯田市下伊那地域の中小企業でチームを組んでプロジェクトとして取り組んでいく。

〔評価〕

LED を駆使した面発光装置から高速道路における危険防止装置まで様々なジャンルの商品開発を行う同社が新たに挑戦する事業であり、医療現場における「困りごと」を解決するビジネスとしてニーズも明確に見えているプランである。自社で対応できない工程については NESUC-IIDA のネットワークを活用するなど「チーム飯田」で挑戦する事業であり、また医療機関でのテストを重ねるなど、周囲を巻き込んで事業を具体化してきた姿がうかがえる。

価格競争の回避や参入障壁の構築など課題は残っているが、地域内の中小企業が連携して挑戦するモデルケースになる事業であり、準大賞がふさわしく、奨励金 50 万円を交付する。

※応募された案件はすべて、事業化に向け、商工会議所と連携した支援を継続いたします